

検査重点項目	検査日	年	月	日
1 適正なかぶり厚さの確保	CON			
2 適正な定着長・継手長の確保	打			
3 鉄筋のピッチ・あき寸法の確保	設			
4 鉄筋の材質・径・本数の確認	者			
	検査担当者			
	現場職長			

検査部位	備考	備考
径		
主筋方向		
本数	材質	
間隔	かぶり	
	ピッチ	
定着長	スパーサー	
ラップ長	精度	
補強筋	結束	
	清掃	

材質

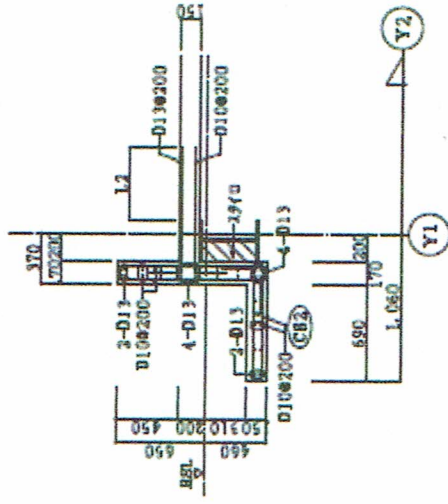
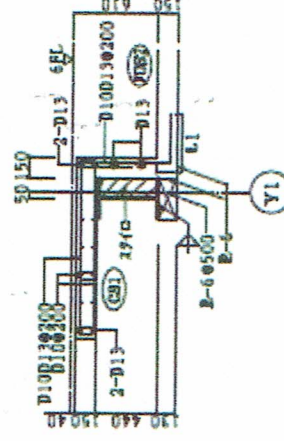
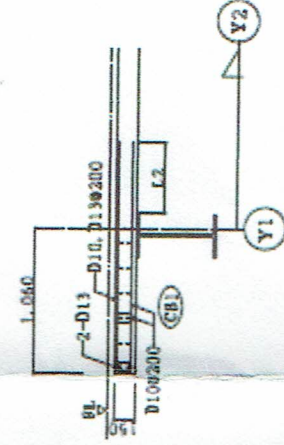
SD295A:D10~D16
SD345 :D19~D25
SD390 :D29~D38

[illegible]

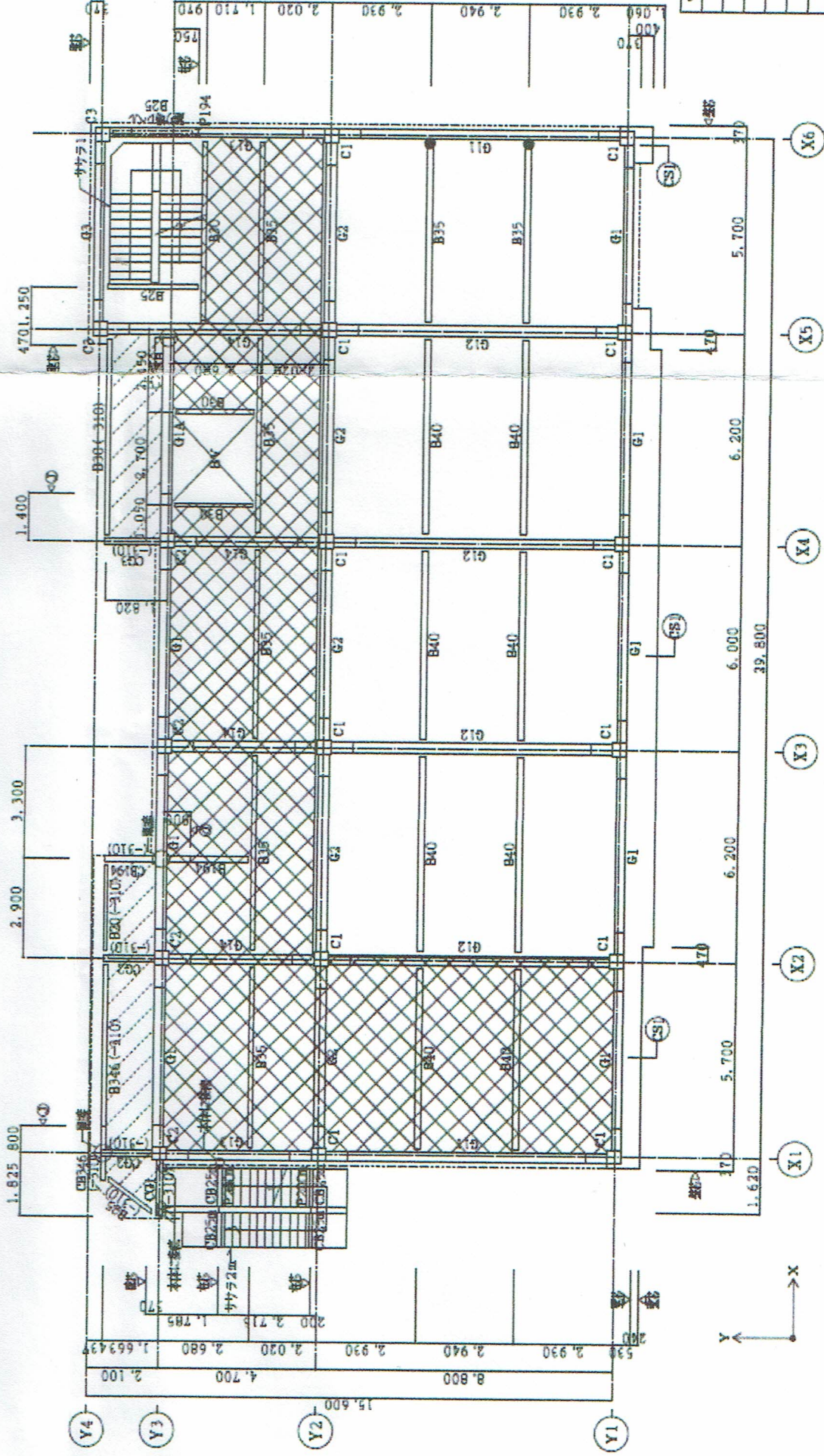
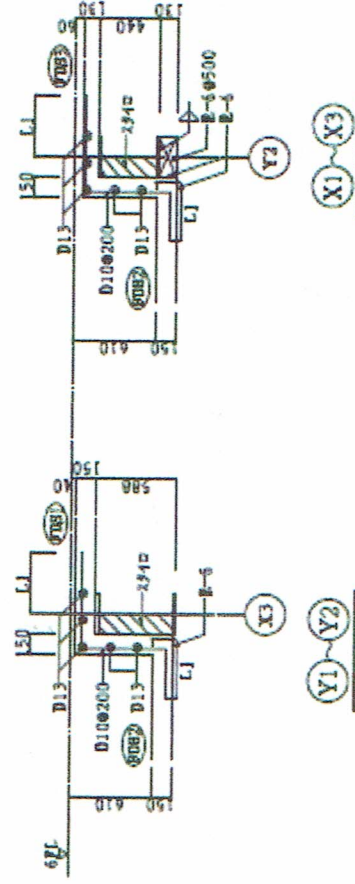
FOS1		150	上層部	D13 並200	D13 並200	D10 並200	D10 並200	△ 4.3 48.1-52.7	
		0	下層部	D13 並200					
FOS2	B80-110	150	上層部	D13 並150	D13 並150	D10 並200	D10 並200	△ 4.0 48.1-152.6	
		0	下層部	D13 並150					
FOS3	B80-90	130	上層部	D13 並200	D13 並200	D10 並200	D10 並200	△ 3.8 48.1-152.6	
		0	下層部	D13 並200					

CS1 定端要瀬因 (1) 1/30CSI 定書要領 (2) 1/30

中華書局出版



スラブ段差要綱図



2階大図 1/100

指定を要する	
・ 保固年次地価は、2FL-210とする。	・ スラフ管地は、(408)とする。
・ () 内敷地は、2FLからの最短距離を示す。	・ スラフ管地は、2FL-60とする。
・ テラススラフ管地は、1とする。	・ (33) 部 スラフ管地は、2FL-150とする。
・ ● 印(引出口部は、小引出口部による。	・ (33) 部 スラフ管地は、2FL-40とする。
・ 埋設管字位置は、花より800とする。	
・ (ド) 印は、埋設管字位置を示す。	